

マルチホールサクシオン排砂管工法 実証実験見学

2月8日（火）に長野県的美和ダムで行われているマルチホールサクシオン排砂管工法（以下、MHS工法）実証実験の見学へ行ってきました。このダムは天竜川水系の三峰川に建設されたダムです。標高が約800mですが、当日は雨が降っていたのでそれほど寒くはなかったです。今回の実験へは管理所から3名で見学に行ってきました。

長野県茅野駅で電車を降り、そこからバスで美和ダムへ移動しました。実験ヤードは美和ダムの貯水池内にありました。バスから降りると、一面に堆積している大量の土砂に圧倒されました。これらの土砂は南アルプスから川が運んで来て、美和ダムの貯水池に堆積したものです。掘削して水切り後に圃場整備などで使っている話を移動中のバスの中で聞きました。

MHS工法は吸入口と排出口の水位差エネルギーを利用し、開閉装置を付けた排砂管を、貯水池に埋設して、吸入部に土砂が堆積した段階で、バルブを開いて排砂を行うことを想定して開発が進められているそうです。

排砂の実験は15分程度で終わりました。排砂を開始して放流水の密度がピークを迎え、元に戻り排砂完了となりました。

その後、場所を変えて実験の経緯や報告、質疑などが行われました。これまでの実験結果から閉塞してしまう水位差のケース、吸入の抵抗になるものなどの報告や、実際に運用する場合の質問が出ていました。

移動中のバスからは工事中の分派堰やバイパストンネルの呑口が見えました。できればバイパストンネルも見学したかったです。



実験池



沈砂池（排砂前）



沈砂池（排砂中）

滝桜の補修工事

1月15、16日に降った重く湿った雪の影響で枝が折れてしまった国指定天然記念物の「三春の滝桜」。1月19日、樹木医で県樹木医会の鈴木事務局長を迎え、現地調査や落下した枝の撤去作業が行われました。3月3日に滝桜の周りに足場が組みられ補修工事が始まり、折れた箇所には病害虫の被害を受けないように殺虫剤や殺菌剤・防腐剤などが塗られ、また、補強のため新たに支柱を取り付けるなどの作業が行われ、3月15日に無事に補修工事が終わりました。折れた枝は、桜では今までに例を見ない挿し木を行い滝桜の後継樹を育成し、また、三春町の自然観察ステーションでは滝桜の折れてしまった枝ぶりの良い2本の枝を展示しています。4月上旬からは三春交流館「まはら」において、このうちの1本を展示する予定です。この機会に樹齢千年を超える滝桜の枝を間近にご覧になってみてはいかがでしょうか！



雪害直後



補修作業後

雪害を受け折れた枝は平に切り整えられ、殺虫剤や防腐剤の薬が塗られました。塗り薬は焦茶色をしていて、切断部分が目立たなくなりました。



今回の補修工事で新たに5本の支柱が取り付けられました。(緑色に見える柱です)

撮影した3月15日は補修工事最終日で、手際よく足場の撤去作業が行われていました。

折れた枝の被害状況

周囲	折れた枝の長さ
85 cm	270cm
50 cm	320cm
73 cm	590cm
75 cm	400cm
42 cm	380cm
35 cm	380cm
30 cm	560cm
43 cm	400cm

他に、直径5cm～8cmの枯れ枝 5本

大枝に巻き込まれた小枝 10本

資料提供：三春町 自然観察ステーション

～メンタルヘルスに関する講話を聴講して～

総務係 芳賀 高志

去る1月28日、磐城国道事務所において、福島県内の事務所に勤務する職員を対象として、臨床心理士 熊坂しのぶ先生による「メンタルヘルスに関する講話」が実施され三春ダム管理所を代表して、私と菅原技官の2名が聴講してきました。

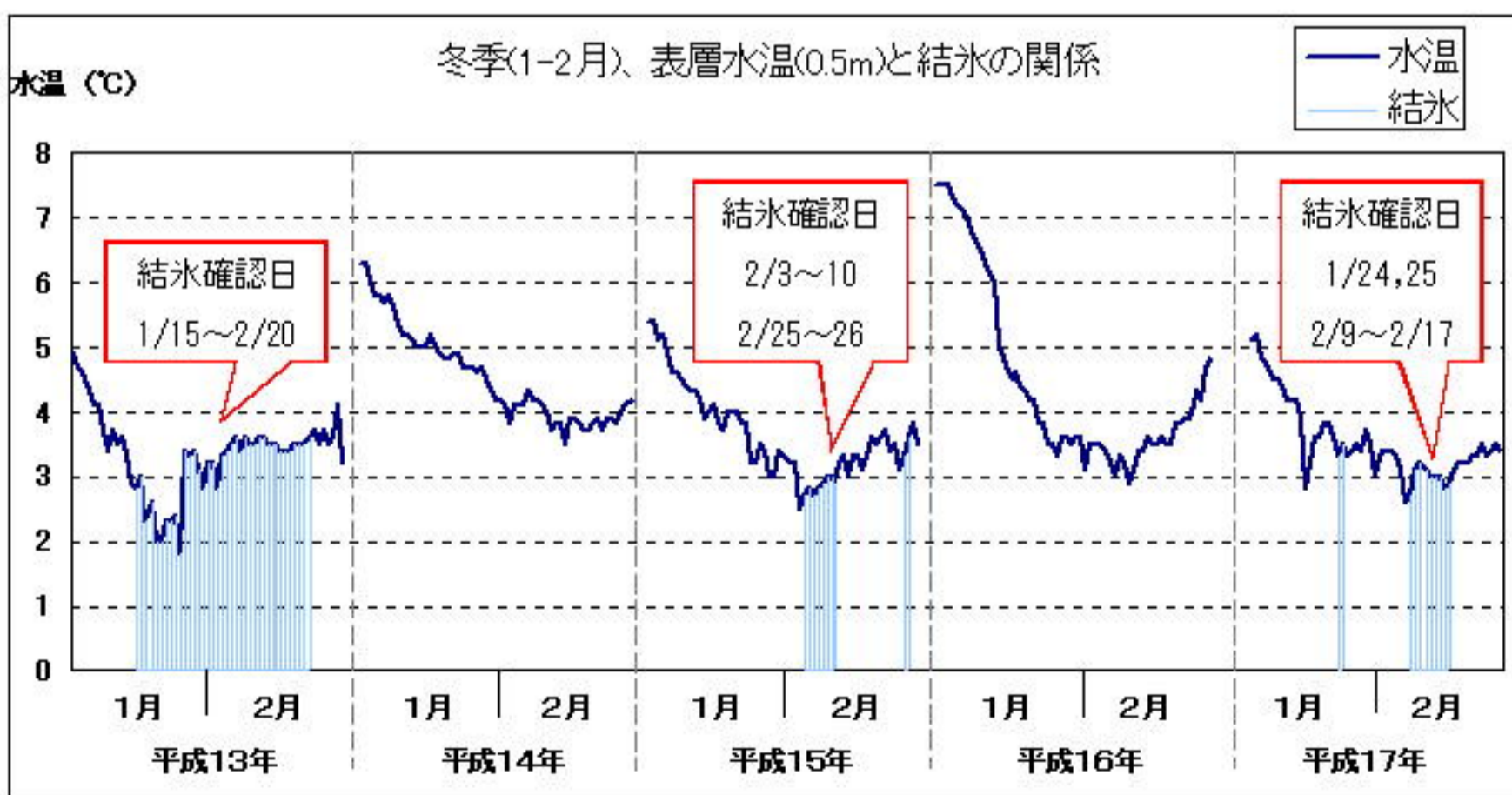
講話を聴講して印象に残ったことは、心理的社会的ストレスが発病や病状の経過に関与することが大きいと考えられている病気「ストレス関連疾患」の中に、私がこれまで認識していた胃、十二指腸潰瘍や不眠症、偏頭痛、うつ病等の神経症の外に、高血圧、気管支ぜんそく、リウマチ、緑内障等も「ストレス関連疾患」にあげられていることから、自分が思っている以上に、心の健康が体に与える影響は大きなものであり、メンタルヘルスの重要性を再認識させられました。

また、ストレスの解消法としては、十分な睡眠・休養・規則正しく栄養バランスのとれた食生活の外に、自分だけの楽しみ（趣味）を見つけることが、ストレス解消につながるそうです。（ギャンブルはかえってストレスが溜まることもあるので×）

以上、自分が印象に残った話を書いてきましたが、他にも参考になる話をたくさん聴きましたので、今後、自分のもとより、管理所職員のメンタルヘルスの向上に役立てればと思っています。

表層水温とさくら湖の結氷

今年もさくら湖で10日前後の結氷を確認することができました。過去5年間の表層水温（水深0.5m）とさくら湖の結氷の関係を見ると、表層水温が3℃を境に結氷しているようです。3℃以上での結氷もありますが、2～3日前に急激に水温が低下し、気温が氷点下で強風が吹いたなどの影響も考えられます。



結氷確認場所：ダムサイト付近

ミーちゃん＆んじくんの なぜ?なに?さくら湖

Q1. 春田大橋のような橋はあまり見ないけど
珍しいの?

A. 『春田大橋』は、三春の春をイメージしさくら湖のシンボルとして親しまれています。橋の中央にある展望テラスからは、さくら湖やダム景色が楽しめます。橋の形式は、東北地方建設局(現在の東北地方整備局)において、当時としては初めて採用された「PC斜張橋」で、橋長218m、主塔高118mの長大橋です。

張り出し工法による
主桁施工状況



斜張橋は、主塔からななめにのびたケーブルが橋桁を吊った形をしています。吊橋の次に長い支間に適した橋です。吊橋とちがうのは、主塔からのびたケーブルが直接橋桁につながっていることです。『春田大橋』は、橋の片側に主塔をはさんで13本ずつ、計52本のケーブルワイヤーで橋桁を吊っています。おなじ形式の橋として『横浜ベイブリッジ』や『瀬戸大橋』などがあります。



平成元年に着工、
平成6年に供用開始
しました。



平成5年4月
手前 春田橋と
春田大橋

2月の見学者



4年1組のみなさん

2月24日(木)
三春町立三春小学校
4年1組のみなさん
(34名)



4年2組のみなさん

2月25日(金)
三春町立三春小学校
4年2組のみなさん
(33名)
「三春ダム新聞」順調に
進んでいるかな?

資料館からのお知らせ

三春ダム資料館では、昨年開催されました『水と緑の写真コンテスト』の入賞作品展を開催いたします。一般の部16点、少年の部18点の全34点を展示します。ぜひ、足をお運びください。

【水と緑の写真コンテスト】

期間：3月26日(土)
～5月8日(日)

また、三春ダムホームページでも入賞作品をご紹介しますので、こちらもご覧下さい。



お待ちしております。

編集後記

寒い冬もそろそろ折り返したまに暖かく感じる日があり、秋田県に生まれた私にとって、2月の天気・気温としては、とてもうらやましく、また、うれしく感じます。しかし、資料館への来館者が少ない状況がしばらく続いています。個人的には、雪のさくら湖



も結構きれいだと思っているのですが、みなさん如何でしょうか。一度御覧になって見て下さい。(長岐)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内 403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>